令和３年度　第７回家庭教育講座「子そだてマナビィ」講座報告

楽しく子育て！
絵本でコミュニケーション

日　時：令和３年１０月１０日（日）10：00～12：00
場　所：嘉川地域交流センター
講　師：塚本　美穂　氏（長門市立向津具小学校校長）
受講生：大人２０人

＜講 座 内 容＞
　AFPYによる参加者交流や絵本の朗読や紹介、クイズなどを交えながら講義を行い、人と人の関わりについてや親から子へ声のかけ方のポイントなど学びました。

今日はみなさんの視野を広げる体験をして欲しいと思います。」

コミュニケーション

受講生の皆さんで様々なＡＦＰＹ（アフピー）を体験しました。

ＡＦＰＹとは？
山口県独自の体験学習法。「他者とかかわり合う活動を通して、個人の成長を図り、豊かな人間関係力を築くための考え方と行動の在り方を学び合います。

▼自己紹介・フリートーク
・お名前
・はまっていること
・今日、楽しみにしていることは？

▼「Are you Nimo?」（「あなたはニモですか？」）
①おにごっこでいうところの「鬼」役を、「ニモ」として、本人のみにわかるように指名。
②互いに「Are you Nimo?」（「あなたはニモですか？」）と尋ね合います。
③ニモに出会ったら、その後ろに並びます。

▼円陣移動
全員で円形に向き合って並びます。講師の質問に当てはまる人は、円の向かい側に移動します。
「朝ごはん食べた人？」「子育て楽しい人？」「子どもに絵本読んであげてる人？「今日は楽しいと思う人？」

▼輪になって、「せーの」で、右か左を向くよ！
「せーの」で、右か左を向きます。
隣の人同士で向き合えたら、、、やっぱり嬉しいですね。

ポイント

「例えゲームとわかっていても、背中を向けられると、寂しいきもちがしませんか？
子どもが話しかけてきたら、正面を向いて話を聞いてあげましょう。」

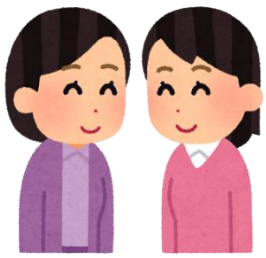
▼反対へ動けるかな
パターン1　講師が言った方向と同じ方向を言葉に発し、体もそちらへ向きます。
パターン2　〃　言葉は反対、体はその方向へ
パターン3　〃　言葉は同じ、体は反対方向へ

指示が難しくなると失敗して大笑いになりました。

ポイント

「もし子どもさんが多少失敗しても、怖い顔しないで今みたいに笑っていてくださいね。」

▼イラストを見て
（蛇がかみつき合っているイラスト）
このあとどうなったでしょう？近くの人と話してみてください。（発表）



絵本タイム♪

塚本先生が学校で子どもたちに読んであげている絵本の中から
季節に合わせて一部をご紹介、朗読してくださいました。

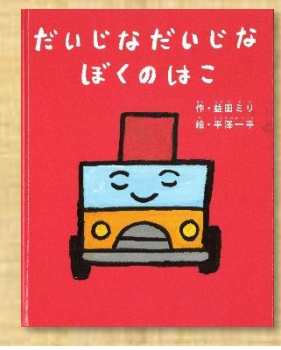
先生からのメッセージ

広い視野をもち、視点を増やしてみませんか。

『なつみはなんにでもなれる』
作　ヨシタケシンスケ　PHP 研究所

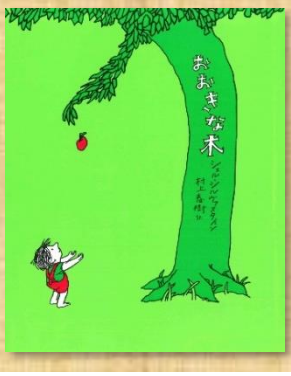
『はやくはやくっていわないで』
作　益田ミリ／絵　平澤一平　ミシマ社

【４月】
新しい生活の始まり。慣れないことで戸惑うことも。
子どもさんへ伝えたい「あなたはあなたのままでいいんだよ。」



『だいじなだいじなぼくのはこ』
作　益田ミリ／絵　平澤一平　ミシマ社

【５月】
子どものきもちをまるごと受け止めてあげましょう。



『おおきな木』作　シェル・シルヴァスタイン／訳　村上春樹　あすなろ書房

【６月】
丈夫な装丁の絵本です。
蚊を退治するつもりで、思い切りばーんと本を閉じて、ストレス発散！

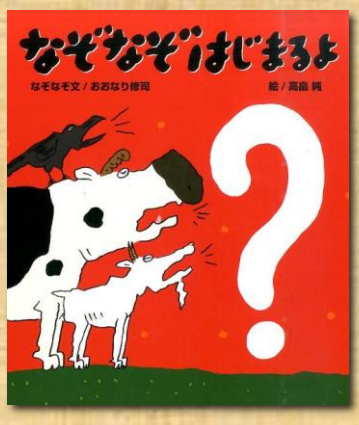
『カ　どこいった？』作　鈴木のりたけ
小学館

【７月】
無償の愛･･･親の姿

『ひまわりのおか』文　葉方丹／絵　松成真理子　岩崎書店

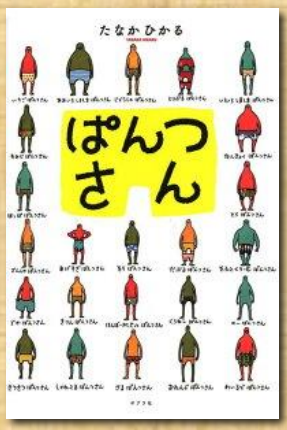
【８月】
～命を考える～
2011 年 3 月の東日本大震災による津波により命を落としてしまった子どもたちのお母さんが、丘にひまわりを植えていることを絵本にしたものです。

【９月】
疲れてるときにはほっこりして楽しい本を。



『なぞなぞはじまるよ』
文　おおなり修司／絵　高畠純
絵本館

『ぱんつくったよ。』
作　平田昌広/絵　平田　景　国土社



『ぱんつさん』
作　たなかひかる　ポプラ社

『はっぱじゃないよ　ぼくがいる』文・写真　姉崎一馬　アリス館

【１０月】
葉っぱの形、虫食いの穴、近くの人とお話してみてください。

メッセージ

塚本先生から送りたい大切なこと

▼ついつい言ってしまうNGワード
「ちょっと待って」
「早くしなさい」
「・・・じゃあねぇ・・・」
「いつも言ってるでしょ」
「〇〇ちゃんはできるでしょ」

「言ってくれたらいいのに」
「そんなことたいしたことない」
「だから言ったでしょ」

おすすめの言い換え
「今度何かあったらいいーや」
「自分もそんなことあった」
「〇〇してくれたら嬉しいわ」

▼コミュニケーション力を養う

『人の思考パターン』は、幼少期に確立される」といます。一番大切なのは、身近な保護者とのコミュニケーション。もう遅い、なんてことはありません。思い立ったら今日からやってみましょう！

▼「想像力」

思考のパターン、脳の特徴
右脳　感覚的、芸術、創造など、イメージで捉える
左脳　論理的、筋道をたてて考える

ポイント **コミュニケーションにおいて一番大切なことは、「想像力」（相手が考えていることを想像する力）**
右脳を鍛えてこれを育もう！

▼ひらめき体験（右脳を鍛えるクイズ）

腹　炎　踏　〇　銀　軽　是
〇にはいる漢字は？（何個でもいいですよ）

▼「恕（じょ）」という字は・・・

「おもいやり」という意味。（その人の気もちを自分の事のように考える事）

ポイント **誰かに何かを言うと、おせっかいと思われることもあるかもしれません。でも、人に関心をもち、思いやりをもって関わりを持つことを大切にしていきたいですね。**

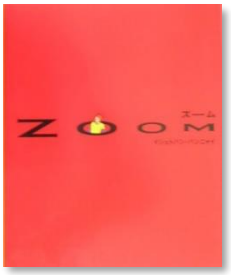
▼「竹とんぼって言葉みたい」

竹とんぼ（プラトンボ）を相手にむけて飛ばしてみましょう。
風に流されたり曲がったり、なかなか思った方向へは飛んでくれません。コミュニケーションを取りたくても、うまくいかない時もある。そんなつもりじゃなかったのに、というときもある、それでも･･･相手に関心を持っていてほしい。

ポイント **相手に思いを「届けよう」という気もちと、相手の思いを「受け取ろう」という気もちがあるといいですね。**

並べて完成～一冊の本をみんなで～

１ページずつバラバラにわけた絵本のページをくばります。
みんなで話し合って、お話のとおり並べてみましょう。



『ZOOM』作・絵／イシュトバン・バンニャイ
出版／復刊ドットコム

最後に・・・

▼本を自分のものにする

本に書いてあることは、著者の思考にすぎない。読んだことを誰かと共有したり、一緒に体験することで、書いてあることが自分のものになるのではないでしょうか。

▼一番大切なことは・・・

百聞は一見に如かず　聞くこと　＜　見ること
百見は一考に如かず　＜　考えること
百考は一行に如かず　＜　行動に移すこと
百行は一果に如かず　＜　結果をだすこと
百果は一幸に如かず　＜　一人の幸せ
百幸は一皇に如かず　＜　みんなの幸せ

※当日の新型コロナウイルス感染症対策として以下を行いました。
・受付にて検温・体調の確認・手指消毒の奨励・休憩時窓の開放による換気

アンケートよりご意見・ご感想を一部ご紹介

★こんな知らない絵本、どうやって見つけるの！？と、楽しめる絵本多数と面識のない方々と笑って過ごせる魔法のような時間でした。考えの幅、見方を広げ、楽しんで過ごそうと思えた一日でした。ありがとうございました。

★話を一方的に聞くのではなく、“アハ体験”などできて楽しかったです。新しい絵本に出会えたことが良かったです。ありがとうございました。

★絵本を月ごとに紹介してもらい、私も、子どものその時の状況やきもち、疲れなどに対して、絵本を通して子どもに寄り添ってあげたいと思いました。

★親同士のふれあい等、子どもに絵本を読んで終わり、ではない、もっと大切なことを教えていただきました。体を動かして色々楽しかったです。